

抗がん剤治療後に発熱したら

～抗菌剤などの薬の飲み方と注意～



2011年6月

国立がん研究センター中央病院
呼吸器内科・薬剤部・看護部

目次

- はじめに 何故、発熱に注意するの? ······ 2
 - 注意する症状はどんなもの? ······ 3
 - 発熱したらどんな治療をするの? ······ 4
 - どんな薬を飲むの? ······ 5
 - 確認しましょう。 ······ 6
 - 次のようなときは連絡して下さい。 ······ 6





はじめに 何故、発熱に注意するの？

抗がん剤治療を受けてから1～2週間すると、白血球の数が少なくなり、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなります。感染症を起こす可能性が増え、また、時に菌が血液中に入り、敗血症などの重篤な感染症を引き起こすこともあるため、注意や予防が大変重要となつてきます。

白血球の減少は抗がん剤治療において頻度の高い副作用のひとつです。吐気・嘔吐・脱毛などと異なり自覚症状がなく、白血球の少なくなる時期や程度は、個人によって、あるいは使用する抗がん剤の種類・量・組み合わせ・投与スケジュールなどによって多少異なります。

発熱に注意する時期と、対処方法(特に抗菌剤の使い方)を理解して、安心して抗がん剤治療を受けていただくことができるよう、この小冊子を役立てていただければ幸いです。

国立がん研究センター中央病院

呼吸器内科グループ





注意する症状はどんなもの？

多くは、風邪のような症状に注意が必要ですが、体の抵抗力が落ちている時期は、いろいろな部位から感染症を起こす可能性があります。

- 38℃以上の発熱
- 寒気・ふるえ
- せき・たん・のどの痛み
- 鼻や耳の痛み・閉塞感
- 歯肉痛・虫歯・口内炎
- 下痢・腹痛
- 肛門痛
- 排尿時の痛み・血尿・頻尿
- 皮膚の発疹・発赤
- おりものの増加・性器出血・陰部のかゆみ
- 傷・カテーテル挿入部の発赤・腫れ・痛み



38°C

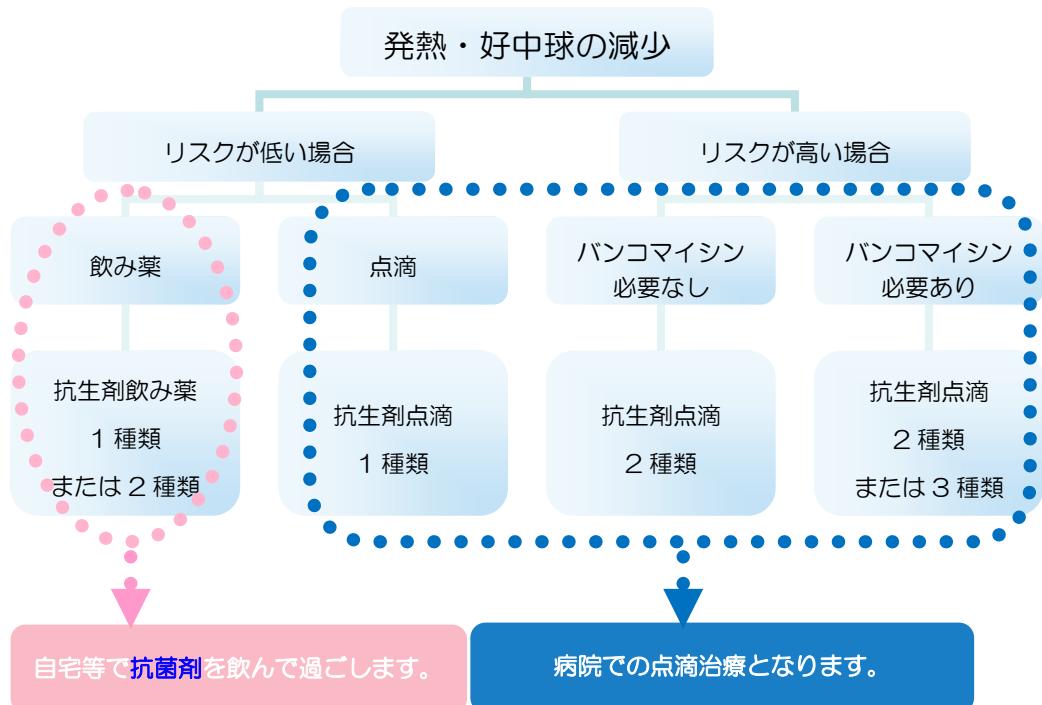
注意！ 鎮痛剤（痛み止め）を服用している方へ

消炎鎮痛剤（痛み止め）には解熱作用もあり実際に感染が起こっているのに発熱が認められないことがあります。



発熱したらどんな治療をするの？

抗がん剤治療後の発熱の大部分は、細菌感染症によるものと考えられています。しかし、感染部位や原因となる菌が特定されないことが多いため、まず、経験に基づいた抗菌剤治療を行います。好中球（白血球の大部分を占める感染防護の役割を担う成分）の減少や症状の程度など、いくつかの項目を確認して、重篤度の危険性に分けて治療が行なわれます。



3～5日後にさらに発熱や状態を見て治療を決定します。



どんな薬を飲むの？

38℃以上の発熱があった際には、抗菌剤と解熱剤を飲みましょう。

● 抗菌剤

ここが大事

38℃以上の発熱があったら、**飲み始め**ましょう。

飲み始めたら熱が下がっても服用期間**飲みきり**ます。

シプロフロキサシン®



1 日 _____ 回 (1 回 _____ 錠)

朝・昼・夕 食後

クラビット®



1 日 _____ 回 (1 回 _____ 錠)

朝・昼・夕 食後

その他

● 解熱剤

38℃以上の発熱があったら、**飲みましょ**う。

抗菌剤のように継続する必要はありません。

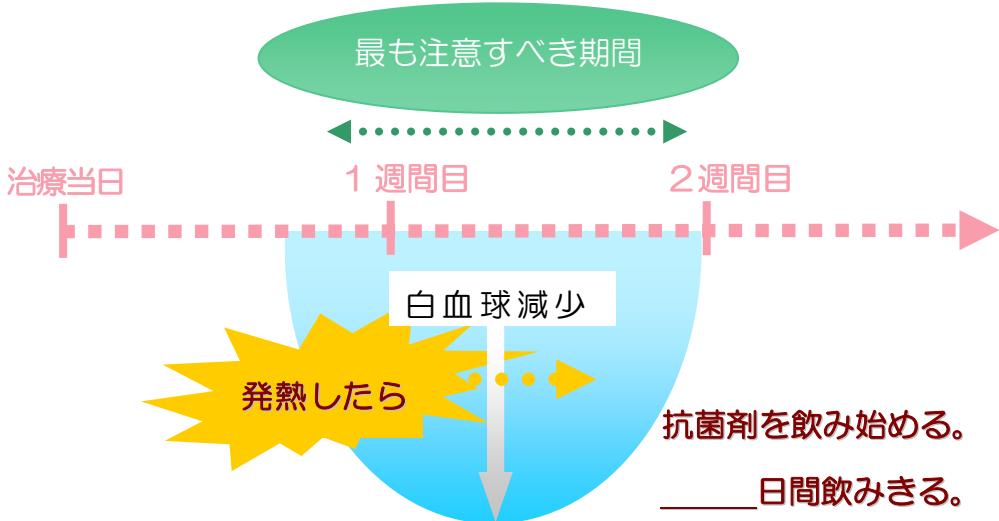
カロナール®



発熱時 1 回 _____ 錠



確認しましょう。



【飲み合わせの悪い薬があります】

同時に飲むことで抗菌剤の効果が下がってしまう薬があります。
以下の薬は抗菌剤服用後2時間あけて飲むようにしましょう。

効果を下げてしまう薬

- ◆ 下剤（マグネシウムを含むもの）
- ◆ 胃薬（アルミニウムなど軽金属類を含むもの）
- ◆ その他（鉄剤、カルシウム剤など）



次のような時には連絡してください。

- 発熱後2日間抗菌剤の服用を続けても熱が下がらない場合
- 一旦解熱したのに3日目以降に再度発熱する場合
- 発熱と同時に下痢、嘔吐などの症状がある場合・食事が取れない場合
- 発熱が37.5度など抗菌剤の服用に迷う場合

どんな些細なことでも医療スタッフまでご連絡ください。



病院名 国立がん研究センター中央病院

電話番号 03-3542-2511

担当医師

監修 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科

ワーキンググループ 薬剤部・呼吸器内科・看護部